

にしごう 社協 だより

福祉のひろば

発行所／社会福祉法人西郷村社会福祉協議会
事務局／西郷村大字熊倉字折口原96番地1
☎25-5454

発行日／平成28年10月1日
印刷所／ふじ印刷株式会社



平成28年10月1日 西郷村立熊倉小学校 街頭募金ボランティア児童のみなさん



平成28年10月2日 西郷村立米小学校 街頭募金ボランティア児童のみなさん

平成28年度 赤い羽根共同募金運動がはじまりました

本年度スローガン

「支え合って70回 つないで行こう 共同募金」

みなさまからご協力いただきました共同募金(赤い羽根・歳末たすけあい)は、身近な福祉に役立てられております。(P2掲載)



社会福祉協議会の運営及び事業は、村民皆様の会費・寄付金などによって行なわれております。



平成28年度

赤い羽根共同募金運動が

はじまりました。

平成28年度スローガン

支え合って70回 つないで行こう 共同募金

「赤い羽根共同募金」ってなんだろう??

ひとりひとりのやさしさが、

あなたの住む町を、もっと、やさしくしてくれます。

赤い羽根の募金活動は、町の人々のやさしい気持ちを集める活動です。

民間の運動として戦後直後の1947年(昭和22年)に、市民が主体の取り組みとしてスタートしました。70年たった今、社会が大きく変化する中で、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む、民間団体を支援する仕組みとして、また、市民のやさしさや思いやりを届ける運動として、共同募金は市民主体の運動を進めています。

赤い羽根共同募金は、市民自らの行動を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」です。

(赤い羽根共同募金 公式HPより抜粋)



みなさまからの善意、こんなところで活かされています!

お寄せいただきました募金は、福島県共同募金会へ全額送金後、民間社会福祉活動の資金として県内社会福祉施設・福祉団体・市町村社会福祉協議会などへ配分され役立てられます。

市町村社会福祉協議会への配分金額は、その市町村共同募金委員会での募金集計額に対して割合が決められます。みなさまからの善意の一部が、それぞれの市町村社会福祉協議会に配分されます。

なお、右記の車両は、村民のみなさまに貸出をしております。



平成26年度募金で配分された車椅子同乗車両

全国の募金の使い道がわかります!

赤い羽根データベース

「はねっと」



共同募金会では、平成14年から赤い羽根データベース「はねっと」を導入し、共同募金の使いみちを、全国の市町村ごとに一つひとつ紹介する取り組みを行っています。どのように赤い羽根募金が生かされているのか、是非ご覧ください。

はねっとHPアドレス

<http://hanett.akaihane.or.jp/>

新しい「赤い羽根共同募金運動」のかたち

「地域課題解決型募金」運動がはじまります!

(運動期間：平成29年1月1日～平成29年3月31日)

「地域課題解決型募金」とは、特定の地域福祉課題を解決するため、寄付者が募金を配分する団体と事業を指定して寄付を行い、福島県共同募金会がその団体に配分を行うものです。エントリー団体は、自ら募金活動を行うことにより、共同募金の仕組みを活用して県民の皆さんに課題解決への協力を訴えることができます。

平成28年度のエントリー団体など、詳細につきましては、福島県共同募金会ホームページに順次公開される予定です。

福島県共同募金会HPアドレス

<http://www.akaihane-fukushima.or.jp/>



平成28年度 西郷村社会福祉協議会

会員会費のご協力 ありがとうございました。



社会福祉協議会は、地域のみなさまに支えられた民間の福祉団体で「誰もが安心して暮らすことの出来るまちづくり」を目指し、地域の福祉推進に取り組んでおります。

今年度の会費につきましても、村民のみなさまにはご理解・ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

なお、平成28年度の「会員会費」の納入につきましても、随時受付をしておりますので、お問合せなどございましたら、社会福祉協議会(25-5454)までご連絡ください。

ご寄付

平成28年6月18日～9月30日

皆様からの善意に心より御礼申し上げます

▶ 郡山ヤクルト販売様

(社会福祉事業のため)

▶ 橋本 良次様

[原中]

(故 橋本フキ氏ご遺志として)

▶ 芳賀 信義様

[上野原]

(社会福祉事業のため)



被災地支援にご協力ください!

台風10号等災害義援金

平成28年8月末、北海道と岩手県に甚大な被害をもたらした台風10号等により、被災された方に対する義援金を受け付けております。

お預かりした義援金は、日本赤十字社福島県支部を通して全額被災者に届けられます。

村民のみなさまのご協力をお願いいたします。

受付期間: 平成28年10月31日まで

イタリア中部地震救援金

平成28年8月23日に発生しました地震により、被災された方に対する救援金を受け付けております。

お預かりした救援金は、福島県支部を通して日本赤十字社でとりまとめられ、被災地の物資援助に活用されます。

受付期間: 平成28年11月30日まで

熊本地震義援金

平成28年4月に発生しました地震により、被災された方に対する義援金の受付期間が延長されました。引き続き、みなさまのご協力をお願いいたします。

受付期間: 平成29年3月31日まで延長されています!!

義援金・救援金についてのお問い合わせは・・・

日本赤十字社福島県支部西郷村分区 電話:25-5454 担当:鈴木



第14回 サマーシヨート ボランティアスクール

夏休み期間を利用して、8/1~8/5の5日間村内中学生、市内高校生を対象に開催しました。8ヶ所の受け入れ施設では、積極的にボランティア活動に取り組む姿がみられました。参加者のみなさん、本当にお疲れさまでした!



サマーショートボランティアスクールに参加して。

(順不同)

白河旭高校

西山ヒカルさん
(川谷児童クラブ)

たくさんの子供と触れあいましたが、痛感したのは自分の体力不足でした。子供というのは遊び上手で、おにごっこやブランコ、トランプなど様々なことを「お姉さん一緒にやろう！」と手を引いてくすから、疲れ知らずな子供たちだ。と驚かされました。おにごっこをした時、女の子が転んで怪我をしました。私はどうしていいのか分からず、先生に助けを求めたのですが、その時の先生の対応がとてもスムーズで見入ってしまいました。今回ボランティアという形で子供達と交流しましたが、将来は子供と過ごせるような職に就きたいと改めて思いました。

白河旭高校

緑川遥香さん
(まきは保育園)

まきは保育園で三日間とつても可愛い園児たちに癒されながら楽しく活動できました。私は将来、保育の道に進みたいと考えているので学べたことも多くあり良い経験になりました。活動を終えて将来の目標への気持ちがいよいよ強まりました。サマーショートボランティアに参加して良かったです。

光南高校

木村瑛美さん
(ふれあいの家)

私は五日間、ふれあいの家でのボランティア体験をさせていただきました。利用者の方々はふれあいの家に来ることが「楽しみ」のように嬉しそうに色々と話してくださいました。また、職員の皆さんも優しく、分からない事など丁寧に教え

てください、接し方などとても勉強になりました。利用者さんが楽しめているのは職員の方々の細かい所まで行き届いた対応のおかげなのだなと思います。私は看護師を希望していますが、経験を積んで将来介護系の施設で働くこともいいなと思いました。また機会があったら、ボランティアに参加したいです。ありがとうございました。

西郷第中学校

倉岡瑠奈さん
(キッズランドにしこう)

私は、今回初めてボランティアに参加しました。初日は緊張してガチガチでしたが、スタッフのみなさんが優しく話しかけてくれたおかげで、緊張がほぐれました。キッズランドは、震災などで遊べない子供の為に自由に遊べるように室内で、砂場や大きなマットで遊べます。スタッフの人は安全性や清潔面にとっても気を付けていてすごいと思いました。子供達と一緒にふれあえて、とても楽しく良い思い出ができました。ありがとうございました。

西郷第中学校

金田悠香さん
(米児童クラブ)

私は米児童クラブのボランティアに行きました。米児童クラブに行った時は知らない子が多くて、最初はちょっとやっつけられないかなと不安でしたが、いろいろな子が話しかけてくれて、だんだん仲良くなっていきました。この五日間、米児童クラブの子と楽しく過ごす事ができて、本当に良かったです。

西郷第中学校

河西千夏さん
(みずほ保育園)

今回のボランティアを通して小さい子の接し方を学びました。また、子供の命を預かる先生の立場を体験したことで責任感と達成感を感じ、とても良い経験になりました。また、来年ボランティアがあったら是非参加したいです。一週間という短い期間でしたが、声をかけてくれた元気で明るい子供達とすごせて楽しかったです、嬉しかったです。

西郷第中学校

椎名日花里さん
(みずほ保育園)

始めはとても緊張したし、心配していたことが沢山でした。しかし、ぞう組の子はみんなおりで、可愛くてとても癒されました。教室に入ると私のところに走ってきてくれたり、抱きついてきてくれたりして、とても嬉しかったです。保育士の仕事は子供のお世話の他にも、遊び道具を作ったり草むしりをしたり、プール掃除をしたりなど沢山の仕事があり、保育士の大変さが分かるボランティア活動でした。保育士の仕事について勉強できました。子供たちが「ひかりお姉さん」と呼んでくれたり手をにぎってくれたり、嬉しい事、楽しい事が沢山ありとてもいい経験になりました。また来年もみずほ保育園に行きたいと思いません。一週間という短い間でしたが、分からないことなど教えて下さった先生方、本当にありがとうございました。

西郷第中学校

梶山紗菜さん
(みずほ保育園)

今回、みずほ保育園でボランティア活動させていただき、小さい子とのふれあいや、園内に施されている工夫など、様々なことを知る事ができました。始めはどういう接し方をしたらいいのか分からず、緊張していたけど、時間がたつにつ

れ、どんどんみんなと仲良くなる事ができました。今回のボランティアで学んだことを、普段の生活で活かせるよう、しっかり振り返って将来に役立てたいです。

西郷第中学校

鈴木麻尋さん
(みずほ保育園)

私はサマーショートボランティアに参加し、みずほ保育園で四日間体験をしていろいろなことを知ることが、学ぶこともできました。私はこの体験を通して、私が知ってる中で「保育園の先生より大変な仕事はあまりない」と思いました。小さな子供達と朝会って、それから遊んでいる時は全然疲れなどは感じなく、すごく楽しいけれど一日が終わると一気に疲れてきて、でも朝会うとまた楽しくなるの繰り返しで大変なこともあります。が、たくさん皆とふれあいて、どんな反応をするのかや、どんなことを言えば笑ってくれるのかなど、いつもはできない貴重な体験ができ、私の将来の夢に近い体験ができて、この四日間すごく充実していました。日がたつにつれ、皆との距離が縮まりすごく嬉しかったです。この体験で学んだ事を今後もボランティアなどに参加して活かしていきたいです。

西郷第中学校

星優斗さん
(ふれあいの家)

今回のサマーショートボランティアに参加して、僕は様々なことを知ることができました。一つは利用者さんによって対応の仕方が違うことです。利用者さんの中には飲物にのろみ剤を使って飲物にとろみをつけたり、昼食を出す時にミキサーを使ってペースト状にしてスプーンを使って食べさせてあげたりすることです。今回のボランティアを通して様々な人がいて、人それぞれ対応の仕方を考えて対応していこうと思います。

西郷第二中学校
相馬 充智さん
(米児童クラブ)

子供達とたくさん遊ぶことを目標にボランティアに参加しましたが、子供達が元気すぎて、午後からは少ししか遊ぶことが出来ないくらい疲れました。また、来年もボランティアに参加したいと思います。

西郷第二中学校
兼子 瑞穂さん
(みずほ保育園)

昨年に引き続き、みずほ保育園に参加しました。その中でも大変だったのは、プール掃除や草むしりです。保育士の仕事は園児の世話だけではなく、園児のいない所でも活動しなくてはならず、保育士と言う仕事の大変さを改めて実感することができ、とても有意義な五日間を過ごす事が出来ました。

西郷第二中学校
緑川 蒼空さん
(キッズランドにしよう)

キッズランドにしようにボランティア生として参加させてもらい、小さい子供達と接する楽しさや、子供達を見ている保護者の気持ちなどが学べました。この体験は、僕の今後の生活にとっても役に立つと思うので活かしていきたいです。短い間でしたが、とても楽しかったです。

西郷第二中学校
真船 碧海さん
(まきは保育園)

今回、初のボランティアでした。まきは保育園では、元気な子供達がたくさんいました。初めのころは、あまり子供達と話せませんでした。二日目、三日目と続くうちにだんだん話せるようになりました。来年も機会があれば参加したいと思います。楽しい思い出が作れたので良かったです。

西郷第二中学校
鈴木 美海さん
(まきは保育園)

私は初めてこのサマーショートボランティアに参加しました。初日は子供達と仲良く楽しく過ごせるかとても不安でしたが、時間がたつにつれて、皆と一緒に遊ぼう！とか、こっちに来て！とか声をかけてくれて自分自身もとても楽しくボランティアをすることができました。今回のボランティアでは保育士さんの具体的な仕事内容や小さい子供達の接し方を知ることができ、とても楽しく思い出に残るボランティアにすることができました。是非、次回も参加したいと思います。

西郷第二中学校
大野 妃菜さん
(まきは保育園)

今回のボランティアを通して学べたことは、全て私自身のためになったと思います。子供達を目の前にして本当は笑顔で声をかけて一緒に遊びたいのに、私は笑うことが苦手なのであまり一緒に遊ぶことが出来ませんでした。子供達の前で話せなかったこと、笑えなかったこと、全て後悔しています。しかし、子供達は私に「笑う事の大切さ」を教えてくれました。子供達の前で自然に笑っていた私を見て「何で笑ってるの？」と声をかけられたことに感謝しています。五日間ありがとうございました。

西郷第二中学校
鈴木 奏七さん
(みずほ保育園)

一週間ボランティアを体験してみて、改めて保育士の仕事は大変なことがわかりました。朝から夕方までずっと働きっぱなしで、でも、笑顔で園児に接したり、仕事を丁寧に教えてくれたり、嬉しかったです。園児のみんなもすごく元気で、私を笑顔にしてくれました。充実した一週間になって良かったです。

西郷第二中学校
真船 衣鈴さん
(小田倉児童館)

元気いっぱいの子供達と生活するのはとても大変でした。でも、「お姉ちゃん遊ぼう！」って誘ってくれて、とても嬉しかったです。小学生と仲良くする機会がありません。参加出来て本当によかったです。是非、来年も参加したいと思いました。

西郷第二中学校
磯部 萌衣さん
(みずほ保育園)

私は、三・四歳児のクラスを担当しました。子供達はとても元気で大変なこともあったけど、とてもいい経験になりました。来年もまた参加したいと思います。

西郷第二中学校
吉田 遥大さん
(キッズランドにしよう)

子供達と楽しく、ふれあうことができた。来場客への応対や敬語使いに気を使った。清掃はきれいになるまで時間をかけて行った。

西郷第二中学校
寺田 瞳さん
(まきは保育園)

私は、昨年も参加して今年で二回目のボランティアでした。参加してみても思った事は保育士の仕事は大変だけれど充実しているという事でした。ほんの少しお手伝いをしたり、先生の仕事を一週間見させていだいて、子供達と遊ぶのは体力が必要だし大変だけれど、子供達が笑ってくれたり、一緒に遊ぼう！と言ってくれたりすると、とても嬉しくて充実した楽しい仕事だなと思いました。参加して良かったです。この一週間での体験を活かして勉強を頑張っていきたいです。

西郷第二中学校
矢吹 夕渚さん
(まきは保育園)

最初、子供達と仲良く遊べるか心配だったけど、子供達は元気で「一緒に遊ぼう！」と誘ってくれて仲良く遊ぶことができました。先生が一日どんな仕事をしているのかも知ることが出来たので良かったです。

西郷第二中学校
大野 拓聖さん
(小田倉児童館)

小学生たちはとても元気で楽しかったです。不安な所もあつたけど活動していくうちに仲良しになって良かったです。僕は初めてのボランティアだったけれど、子供達が積極的に話しかけてくれたり、遊んでくれたりして、いい体験となりました。この機会を大切にこれから過ごしていきたいと思います。

川谷中学校
小田切 天さん
(川谷児童クラブ)

三日間という短い時間でしたが、きちんとお手伝いが出て良かったです。小学生の時間にお世話になっていたので、川谷児童クラブで手伝えてとても嬉しかったです。少しでも助けになれたので安心しました。また機会があれば参加したいと思います。

西郷第二中学校
近藤 乙舞さん
(やすらぎの家)

私は今回サマーショートボランティアスクールに参加して、やすらぎの家に行かせてもらいました。仕事では、細々とした注意が必要だったり、かなり力をつかう仕事が多かったりと、思っていたよりも大変でした。でも、デイサービスの職員さんは利用者さんを楽しめるために働いていてかっこよかったです。今回のサマーショートボランティアで学んだことを活かしていこうと思います。

西郷村受託事業 つどいのひろば「おでかけ広場」

毎回好評の「おでかけ広場」を平成28年8月29日に実施しました。

今回は18組の親子が参加し、社会福祉協議会からバスで移動し「ちゃぼランド西郷」で楽しいひとときをすごしました。

次回は11月を予定しています。



つどいのひろばとは？

乳幼児(0~4歳未満)をもつ子育て中の親が気軽に集い、子供と一緒に遊べるスペースと絵本、遊具があり、仲間作りや子育て相談や地域の情報などを提供する場所です。

<お問い合わせ先> ※開所時間など詳しくはお問合せください。
西郷村社会福祉協議会 電話:25-2309 25-5454(担当:藤田)

赤十字健康生活支援講習会

「地域で支える認知症」

開催しました

平成28年9月10日、日本赤十字社福島県支部より健康生活支援講習指導員 平栗裕子氏を講師にお招きし、認知症の症状や対応を学びました。「コグニサイズ」という脳とからだの機能を効率的に向上させる運動を交えながら、認知症患者を抱える家族の方への理解や、地域でどの様に支えていくか等の知識を学び、受講者は真剣に耳を傾けていました。

2025年には全国で700万人を超える方が認知症を患うと予測され、65歳以上の5人に1人と推測されています。

多くの方が身近な病ととらえ、よりそって支援していくことが期待されています。



運動と認知トレーニングを組み合わせた「コグニサイズ」運動

いきいきサロン

第19回ふくしまボランティアフェスティバルが平成28年9月24日(土)福島市パルセいいざかで開催されました。折口原会、大平いきいきサロンが福島県社会福祉協議会会長表彰を受賞しました。

大平いきいきサロン



折口原会



西郷村老人クラブ連合会

グラウンド・ゴルフ大会



第17回老人クラブ連合会長杯

平成28年7月6日 村民野球場にて開催されました。
小雨が降る中、46名の選手がエントリーし体を動かしました。



老人クラブ連合会長杯

男子	女子
1位 鈴木 司さん	角田 静江さん
2位 結城 松雄さん	相川 文江さん
3位 遠藤 薫さん	川名 幸さん



グラウンド・ゴルフって??

専用のクラブ、ボール、ホールポスト(ゴール)、スタートマットを使用して、ゴルフのようにボールをクラブで打ち、ホールポストにホールインするまでの打数を数えるスポーツです。場所によって距離やホールポストの数を自由に設定できるルールも簡単なため、どこでも、だれでも手軽に楽しむことができます。また、ホールインワンには特典が設けられており、プレーヤーの励みと意欲を高める工夫がなされています。
(公益社団法人 日本グラウンド・ゴルフ協会HPより)

西郷村遺族会「英霊の碑」参拝

平成28年8月15日、熊倉の火打山公園内にある「英霊の碑」墓前にて、戦没者の遺族とそれに賛同する会員から組織される西郷村遺族会による参拝が行われました。全国戦没者追悼式に合わせて黙祷をささげ、その後、参列者全員でご焼香しました。

先の大戦においてお亡くなりになられた228柱の冥福をお祈りするとともに、平和への想いを捧げました。

「英霊の碑」には、本村出身の戦没者名が刻まれています。



焼香する、山下榮光遺族会長

西郷村手をつなぐ親の会 体・験・交・流・会♪

平成28年9月10日～11日、那須甲子少年自然の家にて、体験交流会を実施しました。11家族が参加し、ネイチャー万華鏡の制作やキャンプファイヤー、うどん作りを行い親子や会員間の交流を深めました。

手をつなぐ親の会は心身障がい児(者)の保護育成を目的に、心身障がい児(者)とその保護者とで構成・活動しています。



**西郷村
手をつなぐ親の会**

会 長：橋本清二
事務局：西郷村社会福祉協議会
電話 25-5454

西郷村老人クラブ連合会 花部会

新規事業!!

平成28年9月13日に西郷村老人クラブ連合会花部会で、西郷村役場と新白河駅高原口に花プランターを設置しました。今年、花部会を設立して初めての事業です。

花を育て、それを飾り「さわやか高原公園都市にしよう」のイメージづくりに協力し、高齢者パワーを発揮していくことを目的としています。

西郷村の皆様や西郷村を訪れた方々が通りがかりに見て喜んでいただければ幸いです。

西郷村老人クラブ連合会 会長 真船一生



花育成の協力者のお宅から、プランターの運び出し

きれいに育ったね！
ありがとう！



雨の中のプランター設置

11月まできれいに咲いてね

※11月中旬撤去予定です



今回の花部会の花育成や花プランター設置作業には、老人クラブ会員のほかに、花が好きな賛同者の皆様にもご協力いただきました。ありがとうございました。

今後も、花が好きな方のご協力をお待ちしております！
花部会一同

お問い合わせは・・・
西郷村老人クラブ連合会
電話：25-5454 事務局担当：鈴木